



【先週 5月3日～5月9日の外食の出来事】

■ワタミ、休業店舗の従業員をスーパーに臨時出向

ワタミは7日、休業店舗の従業員の一部を食品スーパーに出向させると発表した。首都圏にある居酒屋「鳥メロ」や「ミライザカ」などに勤務する正社員約130人が対象で、スーパーを展開するロピア(川崎市)の店舗で働いてもらう。

■鳥貴族、7日以降も休業を継続 従業員の雇用は維持

緊急事態宣言の延長を受け、直営店393店について7日以降も当面、休業を続けると発表。早期の営業再開を目指す。一方、売上げのない状態が1か月以上続いており、4月末には運転資金として25億円の借り入れを行った。

■奈良の割烹・ケータリングサービス「東鮎」が自己破産申請

奈良市の割烹・ケータリングサービスの「株式会社東鮎」は奈良地方裁判所へ自己破産を申請し倒産した。1962年に創業の同社は寿司・和食・仕出しの出前や「割烹東吉」日本料理店を経営するなど事業を拡大していた。

■アークランドサービスHD、第1四半期(2020年1月～3月)の連結業績 増収増益

2020年12月期 第1四半期の連結業績は売上高87億5300万円(対前年同期比9.5%増)、営業利益12億2000万円(同0.7%減)、経常利益12億3500万円(同0.3%増)、四半期純利益7億3300万円(同1.6%増)。

■ホットランド、第1四半期(2020年1月～3月)の連結業績 減収減益

2020年12月期 第1四半期の連結業績は売上高80億1900万円(対前年同期比3.6%減)、営業利益4億9700万円(同14.3%減)、経常利益5億6100万円(同1.7%減)、四半期純利益2億6500万円(21.3%減)であった。

■スシローGHの10～3月、純利益3%増 既存店好調

2019年10月～20年3月期の連結決算は、純利益が前年同期比3%増の50億円だった。販促キャンペーンを継続し、既存店の来店客数や客単価が増えて収益を押し上げた。売上は12%増の1081億円、営業利益は82億円。

■マクドナルド/4月の既存店売上6.5%増、客単価31.4%増

4月度の既存店売上高は、前年同月比6.5%増、客数18.9%減、客単価31.4%増となった。既存店売上高が増えたのは2か月ぶり。新型コロナウイルスの影響で持ち帰りや宅配の注文が伸びた。

■ペッパーフードサービス「ペッパーランチ事業」分社化「新会社JP」設立

「ペッパーランチ」事業を、新設分割により設立する新子会社「JP」に承継させると発表。これにより、独立した法人として経営責任の明確化を図るとともに、意思決定の迅速化、機動的な事業運営・資金調達を目指す。

■ロイヤルホスト4月、既存店売上42% 店内休業から時短営業に変更

4月29日から5月6日までのゴールデンウィークの期間、店内の飲食提供を休止し、テイクアウト、デリバリー、のみに限定して営業していたが、7日以降は時短営業に戻す。5月1日に発表した4月既存店売上高は42.1%。